

友城

2011

兵庫県立姫路別所高等学校友城会
himeji-bessho prefectural high school.

今号の主な記事

- ごあいさつ 2
- 随想リレー 甲本 喜胤 先生 3
- 新制服の導入について 4
- 特別支援学校分教室設置について 5
- 第33回生新理事歓迎懇親会 6
- 友城会インフォメーション 7
- 事務局だより・編集後記 8



平成22年11月、体育館耐震工事了

この度の東日本大震災で被災された皆様へ心からお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしています。



同窓会副会長
杉本 博昭

ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から友城会の運営に関しまして会員の皆様より色々ご指導賜っておりますこと心よりお礼申し上げます。

さて、兵庫県立姫路別所高等学校も開校以来、卒業生9,877名、在校生570名を数える状況になり母校も少しずつその姿を変えてきました。平成23年4月1日より兵庫県では初めての取り組みとして、特別支援学校の分教室が設置され、姫路特別支援学校新入生16名とともに、「共生の心」をテーマに学んでいると聞いています。

友城会もそろそろ充実期を迎えようとして

いますが、会員の皆様におかれましては友城会の活動にぜひご参加をいただき母校や同窓会が私達にとって、いかに大きな存在であるかを認識し、会員が社会でより一層活躍頂くことにより一段と母校の輝きが増すものと思います。友城会は、姫路別所高等学校の卒業生を会員として会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与することを目的として活動を行っています。ご意見・情報など気軽に友城会本部へいただければ幸いです。今後ともご協力ご支援のほどよろしくお願い致します。

会員皆様のより一層のご健勝とご多幸をお祈りしながらご挨拶といたします。

県下初の特別支援学校分教室を設置、 「共生の心」の育成へ

友城会の皆様におかれましては、ますますご健勝で、また各方面でご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、ご退職の谷口武校長先生の後任として、16年振りに、戻ってまいりました。昭和58年度（9回生）から12年間、英語を教えた懐かしい学校に再び勤めることができ、嬉しく思っています。また、東日本大震災を経て、変化の激しい厳しい社会における教育の重要性を感じ、身の引き締まる思いです。

姫路別所高校は、「市川の東側に県立高校を」という地域の願いを受け、すばらしい環境に設立され、37年を迎えます。歴代校長以下、教職員が一丸となり、「夢を実現させよう！～Realize your dream!～」のスローガンの下、きめ細やかな丁寧な指導を行い、学校がよくなりつつあります。同窓会報「友城」を通じて、皆様が元気になる情報をお伝えできればと願っています。また、同窓生の方に、母校へ来ていただき、後輩を励ましていただければ幸いです。

さて、今年度、県下で初めて、特別支援学校の分教室が本校に設置されました。20年来的交流の歴史がある姫路特別支援学校の分教室の生徒たちと交流及び共同学習を行い、ノーマライゼーション社会に向け、「共生の心」を育むことを目標としています。

校訓「友愛・責任・自立」の具現化を目指し、学校運営に「見える化」を図り、生徒一人一人の夢の実現に向けて、ルールやマナー指導の心の教育を大切にしながら、豊かな心・確かな学力・健やかな体などの生きる力を育んでいきます。

34回生も希望進路を実現し、指導の成果も定着してきました。評価の高い、地域とのふれあい交流や体験学習、奉仕作業は、良き伝統となっています。

新入生37回生から制服をリニューアルし、すばらしい自然環境や学習環境の中で、生徒たちは明るく元気に学校生活を送っております。

本校ホームページにて学校通信「夢通信」をぜひご覧いただき、今後も母校の発展に応援をよろしくお願いいたします。



学校長
田中 章愛

随想リレー

絵画作品寄贈の思い出

今振り返ってみると、姫路別所高校に勤務した16年間は、私にとって教員生活かけだしの時期でもあり、前半はわけの解らないままに、自分の担当だった生徒指導の諸課題にがむしゃらに取り組むだけでした。草創期の気運に満ち溢れていたその頃は、今でいう名物先生が多く居られて、教育実践についてのイロハを多く学ぶことができました。時には自分と異なる考え方や方法に戸惑いを覚えたこともありましたが、会議等で方向が決まると、教職員が一丸となり力を合わせて取り組むのが別所流でした。生徒指導部長や学年主任をした後半の頃は、少し広い視野に立ち学校全体を俯瞰することを心がけました。歴代校長から御教示いただいた教育に取り組む姿勢や教育愛についての教えは、その後、大いに役立ちましたし、現在勤務する大学での教職課程の指導の仕事にも活かされていると感じています。現に、私の教職ゼミ生の中に、美術教師を目指す姫路別所高校の卒業生が1人いて、私がこの学校にいた時の生徒たちと同様、素直で明るく前向きな性格の学生で、将来はぜひこの地で教壇に立ってほしいと願っています。

さて、この友城会会報への寄稿につ

いて、前回寄稿者の佐々木先生から、「寄贈した絵画作品の思い出など」をテーマにして語って欲しい、とお話をいただいていたので、寄贈作品を制作した当時の話をします。当時、私は大変多忙な職場にいたのですが、自分が関わる絵画の分野で、お世話になった学校に貢献できる良い機会だと、お引き受けし、制作に入りました。

生徒玄関から入った少し広いピロティの壁面は縦横とも大変大きく、一つの作品ではとても場の雰囲気を持たないことに加え、学校という場を飾る絵画作品としてどんな内容のものが良いのか苦心しました。その結果、現在の「早春帰巢」と「初夏群遊」という画題の2つの作品になりました。

最初に取り掛かったのはグラウンドの南東側にある萱の茂る小さな池から遠望した校舎と、その後ろの山並みを絵にしたものでした。最初の作品の下描きをしたのは、前日に降った雪がまだ残る早春の3月でした。山並みの深みを表現するために、わざわざ山深い一宮の奥へ何度か取材に行って多くの写真を撮って参考にしました。2枚目の作品に取り掛かった時は、もう初夏になっていて、市川河口の阿成の港に取材し、カモメが群れ飛ぶ様子を絵に

しました。どちらの作品にも共通しているのは、「鳥」がテーマになっていることです。前作品では2羽の白鷺であり、後の作品では群遊するカモメです。空高く飛ぶ鳥は、同時に生徒たちの姿にイメージを重ねたものでもあります。ちなみにこれらの作品は油絵ではなく、西洋で油絵技法が開発される以前の卵テンペラという古典的な表現技法で描いています。創立20周年を記念してPTAから寄贈された2点の作品ですが、記念式典の当日、作品の除幕式にも立ち会うことができました。

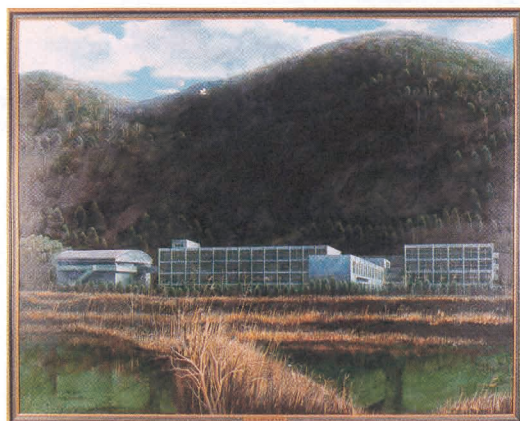
その後、30周年行事の際には、今は亡き飯塚校長の依頼で、事務室窓口横に、アクリル絵具で5月の牛窓を描いた作品を寄贈しました。以前、転勤時に寄贈した会議室の油絵作品、校長室の油絵と陶芸作品なども飾っていただいていますので、学校に立ち寄られた際にはぜひ御覧になってください。



甲本 喜胤
(美術科)

在職期間

昭和52年4月1日～平成5年3月31日



「早春帰巢」



「初夏群遊」

新制服の導入について

本校も創設以来35年の月日が流れ、卒業生も1万人を超えようとしております。この間、時代のニーズに応えた教育に取り組み、とりわけ近年は、県指定「高校生 心のサポートシステム研究事業」、文部科学省指定「高等学校における発達障害支援モデル事業」、県指定「はばたきサポート事業における兵庫県立姫路特別支援学校分教室開設に係る研究」に取り組むとともに、学校評価システムによる見直しに基づいて新たな魅力づくりに努め、それぞれ成果をあげているところです。

これらの学校刷新・魅力づくりの一環として、また、着こなし指導の効果を高めて端正な姿に生徒自身が誇りを持ち、地域からも高く評価されることを目指し、新規制服の導入について、特色化委員会を中心として最近の制服動向や最新の研究開発状況などの研究を進めて参りました。この度、ほぼ1年をかけての検討を終え、兵庫県立姫路特別支援学校分教室の設置を本校発展の機会と捉え、時を同じくして入学する第37回生から導入することといたしました。



進路状況 （34回生 進路決定状況）

	大学	短大	専門学校	就職（公務員）	未定	合計
男	27	2	20	20	7	76
女	17	10	42	20	17	106
合計	44	12	62	40	24	182

◆大学（のべ）	男	女
大阪産業大学	1	
大阪電気通信大学	1	
大阪工業大学	2	
甲南大学	1	1
神戸松蔭女子学院大学	1	
神戸学院大学	9	1
神戸夙川学院大学	1	
神戸親和女子大学		2
神戸女子大学		1
流通科学大学	1	1
神戸芸術工科大学	1	1
神戸国際大学	1	
兵庫大学	2	5
近大姫路大学	1	2
近畿医療福祉大学		1
姫路獨協大学	3	
関西福祉大学		3
岡山理科大学	3	
環太平洋大学	1	
計	27	20

◆短大（のべ）	男	女
関西外国語大学	2	
大手前短期大学		1
神戸山手短期大学		2
神戸女子短期大学		1
兵庫大学		7
計	2	11

◆専門学校	男	女
アルファジャパン美容専門学校	1	
育成調理師専門学校	1	
大阪外語専門学校		1
大阪デザイナー専門学校		1
大阪ビューティアート専門学校		1
大原簿記専門学校	3	1
関西ビューティプロ専門学校		2
神戸愛犬美容専門学校		2
神戸医療福祉専門学校	1	
神戸電子専門学校	1	3
神戸ファッション専門学校		1

神戸ベルエール美容専門学校	2	2
神戸理容美容専門学校		1
専門学校ESPエンタテインメント	1	2
HAL 大阪専門学校	1	
辻調理師専門学校		1
日本栄養専門学校		2
日本調理製菓専門学校	1	5
ハーベスト医療福祉専門学校	1	4
兵庫県立ものづくり大学校	2	
姫路市医師会看護専門学校		1
西神看護専門学校		1
姫路歯科衛生専門学校		2
姫路情報システム専門学校	2	5
姫路福祉保育専門学校		3
兵庫柔整専門学校	1	
平成医療学園専門学校	1	
履正社医療スポーツ専門学校	1	1
計	20	42

◆就職（公務員）	男
新日本製鐵㈱広畑製鐵所	1
三菱重工業㈱原動機事業本部 高砂製作所	1
ジェイアンドケー	2
サントクテック㈱	1
㈱神戸製鋼所 加古川製鉄所	1
合同製鐵㈱姫路製造所	1
佐和鍍金工業㈱	1
井沢エンジニアリング㈱	2
太平工業㈱広畑支店	1
㈱広築	1
広畑銅板工業㈱	1
エスフーズ㈱	1
㈱かめや	1
兵機海運㈱姫路支店	1
千代田金属工業㈱	1
㈱近鉄ホテルシステムズ	1
㈱ベルゴ	1
山中溶接	1
計	20

◆就職（公務員）	女
ジェイアンドケー	1
㈱ターン	1
ゴダイ㈱（呼称：五大薬局）	1
㈱山陽マルナカ	1
エブリバックカワセ㈱	5
サンライズ工業㈱	1
山崎製パン㈱	1
神姫観光バス㈱	1
ツカサ精工㈱	1
岡野食品産業㈱	1
パイオニア精工㈱	1
㈱タツミコーポレーション	1
㈱デービー精工	1
Happis Up	1
福山通運㈱	1
飾東電機㈱	1
計	20

平成23年度 人事異動 ◆ 転出

氏名	教科	異動先	職名	在任期間
谷口 武		ご退職	校長	平20.4～平23.3
西川 茂樹		伊和高校校長	教頭	平21.4～平23.3
藤川美津代		神崎高校事務長	事務長	平20.4～平23.3
吉良 二郎	保健体育	ご退職	主幹教諭	平11.4～平23.3
永光 弘明	理科	加古川南高校	教諭	平17.4～平23.3

氏名	教科	異動先	職名	在任期間
飯貝 高史	数学	県立農業高校定時制	臨時講師	平20.4～平23.3
井上 喜恵	家庭	飾磨工業高校実習助手	臨時講師	平22.4～平23.3
濱口 友彰	保健体育	尼崎工業高校	臨時講師	平22.4～平23.3
吉田 浩子		姫路東高校	臨時事務	平22.4～平23.3

ありがとうございました。転任地でのご活躍をお祈りいたします。

平成23年度本校への県立姫路特別支援学校分教室設置の経緯と概要について

昨年度、県教委から記者発表が行われ、高等学校と特別支援学校との連携による交流及び共同学習を一層推進し、特別支援学校の在籍者増加に伴う過密化解消を図るため、平成23年4月に本校敷地内に県立姫路特別支援学校の調査研究に係る分教室を設置することが発表された。その経緯と概要については、以下の通りである。

【1】経緯

平成22年4月～平成24年3月まで県教委の「高校への特別支援学校分教室設置調査研究事業」の指定を受け、本校に特別支援学校の分教室型の学習の場を設定し、高校への分教室設置に向けた実践的な調査研究を実施することになった。

【2】実施校

県立姫路別所高校及び
県立姫路特別支援学校 2校

【3】内容

これまでの調査研究により、特別支援学校の高等部生徒の社会参加、職業自立の促進を図ることができるとともに、高校生にとっても障害のある生徒とその教育に対する正しい理解と認識を深める絶好の機会となることが明らかとなっている。

調査研究の成果を踏まえ、22年度は従来よりも頻度の多い交流及び共同学習を実施し、23年度は実際に分教室を設置しての交流及び共同学習に取り組むことになった。

【4】分教室の規模等について

- (1) 開設時期 平成23年4月1日
- (2) 設置場所 本校新館
- (3) 学 科 等
特別支援学校高等部 普通科
(職業コース)
- (4) 教室規模
1学年2学級(1学年16人。年次進行により、3学年48人の規模とする)
- (5) 入学資格
自力通学ができ、職業自立をめざす者など。
- (6) 通学区 姫路特別支援学校通学区
域(姫路市、神河町、市川町、福崎町)

【5】分教室の教育内容等について

- (1) 特 色
就労する力を育む学習内容を中心とした教育内容及び高校との交流及び共同学習
- (2) 授業時間 1日6時間
- (3) 学習内容
教科、道徳、特別活動、自立活動、選択科目「情報」ワークスタディ(職業的自立に向けた学習)やライフスタディ(社会的自立に向けた学習)、インターシップ(作業学習、就労体験、企業実習)など
- (4) 交流及び共同学習 生徒会活動や行事交流の他に、部活動や教科学習等で姫路別所高校と交流及び共同学習を実施する。



(5) その他

近隣の地域資源を活用した校外実習の実施
専門学科を設置する高校と連携した資格取得(ヘルパー資格等)を目指す学習など。

【6】使用教室について

- (1) 分教室専用
職員室、HR教室、保健室・教育相談室、作業室 など
- (2) 本校と共用
特別教室、グラウンド、体育館 など
(文責 教頭 宗石 理)

平成22年度 部活動戦績

運動部

〈テニス部〉

- 平成22年度 前期西播磨高等学校 テニス大会 男子シングルスA級
優勝 勝部 康平(1年)
- 平成22年度 前期西播磨高等学校 テニス大会 男子ダブルス
優勝 勝部 康平(1年)・尾西 将大(2年)ペア
- 第63回姫路市民体育大会テニス競技 男子シングルス
優勝 勝部 康平(1年)

〈空手道部〉

- 前期西播磨空手道大会(5月5日)
男子団体形 第2位
女子個人形
第1位 益山 晴香(2年)
女子個人形
第3位 樋口 碧子(3年)

- 女子個人組手
第3位 益山 晴香(2年)
- 女子個人組手
第3位 白井 瀬奈(1年)
- 女子団体形 第1位
- 女子団体組手 第2位
- 後期西播磨空手道大会(9月18日)
女子個人形
第1位 益山 晴香(2年)
- 女子個人形
第3位 白井 瀬奈(1年)
- 女子個人組手
第3位 益山 晴香(2年)
- 女子個人組手
第3位 白井 瀬奈(1年)
- 兵庫県高等学校空手道新人大会(10月30日)
女子個人形
ベスト8 益山 晴香(2年)
- 第30回近畿高等学校空手道大会出場(1月22日)
益山 晴香(2年)

〈陸上部〉

- 第43回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会(9月18日)
7位入賞 豊山 英裕(1年)

文化部

〈演劇部〉

- 兵庫県高等学校演劇研究会
西播支部大会 優秀賞

〈美術部〉

- 第34回兵庫県高等学校総合文化祭
美術・工芸部門 表彰
澤田 郁美(2年)
- 第28回西播高校美術展
奨励賞 澤田 郁美(2年)

〈書道部〉

- 第34回兵庫県高等学校総合文化祭 書道展
特選 尾野 光昭(3年)

第33回生新理事歓迎懇親会が催されました

平成22年8月22日（日）毎年の恒例事業『新理事歓迎懇親会』が（姫路）市内、中華菜館『紅宝石』にて第33回生新理事10名の方に、ご招待状をお送りし開催されました。

当年は、連日の酷暑猛暑であったことをご記憶の方も多いかと思いますが、そんな暑い中、新代表理事の1組の瀬川直美さん、母校より谷口武校長・西川茂樹教頭・山口隆義教諭の方々のご参加のもと開催しました。

当日は、谷口武校長より平成23年4月より母校・姫路別所高校内に設置された『兵庫県立姫路特別支援学校分教室』についての概要を説明して頂きました。そして、近況報告・会務概要・意見交換をすると共に和やかな雰囲気のもと一時を過ごしました。



34回生 新理事紹介

私達第34回生新理事です。今後とも宜しくお願いします

1組	内 山 弘 輝
	藤 本 冴
2組	橋 口 翔 太◎
	井 上 智 恵

3組	池 尻 健 太
	高 島 美 希◎
4組	濱 田 悠 太
	寺 本 亜 未

5組	北 國 雅 人
	吉 川 ゆ う

◎は代表理事

代表理事

氏 名	卒回	氏 名	卒回	氏 名	卒回	氏 名	卒回
日下(福田)敦美	3回	大 山 弘 隆	11回	清 水 真 輔	19回	平 岡 玲	27回
大 西 秀 樹	3回	中 川 樹美子	11回	苦 瓜 佳穂里	19回	亀谷(森井)美枝	27回
三和(木下)園美	4回	山 口 憲 章	12回	角田(鳥山)リエ	20回	森 下 育 美	28回
宮崎(福本) 照	4回	鳥 山 ともみ	12回	三 星 善 則	20回	藏 野 弘 志	28回
前田(藤本)香織	5回	大 土 貴 史	13回	内 海 和 彦	21回	服 部 沙 映	29回
佐々木 俊 治	5回	三 宅 律 子	13回	藤田(河合)美佳	21回	塚 本 圭 一	29回
福 住 寛 介	6回	松 本 久 典	14回	三 木 麻理子	22回	大 西 莉 紗	30回
中川(岡本)絹子	6回	牧 野 勢 子	14回	山野(松島)和恵	22回	川 島 優 太	30回
井 垣 敬 司	7回	林 田 圭 太	15回	猪 熊 孝 夫	23回	三 代 万里菜	31回
瀬 川 久美子	7回	橋 本 敬 子	15回	大西(清水)めぐみ	23回	尾 島 翔 平	31回
仲 井 英 美	8回	徳 井 啓 介	16回	松 尾 嘉 人	24回	池 田 樹 恵	32回
松本(坪内)友美	8回	北川(戎原)かおり	16回	和 田 あかね	24回	井 上 理 恵	32回
藤 村 美 保	9回	西 本 幸 司	17回	荒 川 未 来	25回	岡 本 勝 寛	33回
大 江 直 希	9回	古 正 みよ子	17回	中 島 宏	25回	瀬 川 直 美	33回
桂 敦 司	10回	金 澤 淳 子	18回	高 田 直 子	26回	橋 口 翔 太	34回
釘 本 さとみ	10回	池 田 ひとみ	18回	富 田 雄 一	26回	高 島 美 希	34回

なぜ? なに? 友城会

Q 『事務局』とありますが、学校には友城会の事務局の実態はないようですが…

A

確かに現在、母校・兵庫県立姫路別所高等学校内に「友城会」の事務局は存在していません、将来的には「執行部」とは別に、『事務局』を設定して、「友城会」の窓口として、正会員（卒業生）皆様から寄せられる様々な庶務に対応すべきなのですが…まだ整備するに至っていません。ですが、友城会にも、担当の「世話役」は存在しているので、何かお問合せ等ある際は、「卒業回期・氏名・連絡先・問合せ内容」等を、母校事務職員の方に伝えて頂ければ、折り返しお電話差し上げております。

友城会 Information

お知らせ

平成22年度 友城会活動報告

《平成22年》

4月4日・平成22年度友城会総会

(第1回定例会)……………平成21年度会計報告。

平成22年度予算案。平成22年度事業案。

友城会ホームページの開設、稼働へ。一部改訂会則審議・表記変更。

同日・第3回名簿発刊準備委員会……………名簿発刊の進捗。

・第2回会報準備会議……………入稿状況報告・構成協議。

5月9日・第2回定例会……………今年度事業について

友城会ホームページの稼働状況。

役員任務の明確化。会則内規・細則案について。

同日・第4回名簿発刊準備委員会……………名簿発刊の進捗。

発刊遅延について。

・第3回会報準備会議……………入稿状況報告。校正・改訂作業。

6月6日・第3回定例会……………新理事歓迎懇親会について。

友城会ホームページについて。

同日・第5回名簿発刊準備委員会……………内容充実に伴い発刊日変更。

発送方協議。

・第4回会報準備会議……………最終校正。

6月11日・第36回交流文化祭……………来賓として出席。

6月17日・2010年版友城会会員名簿発刊。

同 会報『友城』発行。

7月21日・第1回学校評議委員会……………評議委員として出席。

7月25日・第4回定例会……………会報、名簿発刊後の報告。

新理事歓迎懇親会について。

8月22日・第33回生新理事歓迎懇親会(紅宝石にて)

10月6日・第36回交流体育祭……………来賓として出席。

11月25日・役員懇親会(忘年会)(薩摩庵にて)

《平成23年》

1月23日・第5回定例会……………第34回新理事入会式参加者
及び、第34回卒業式代表選任。

2月25日・第34回友城会入会式……………入会のお祝いの挨拶、出席。

28日・第34回卒業証書授与式……………来賓として出席、祝辞。

3月3日・第2回学校評議委員会……………評議委員として出席。

3月9日・平成22年度決算書作成会……………会計、執行部世話役による。

平成23年度予算案審議会

3月26日・平成22年度会計監査会……………監査役による監査、調印。

会計報告

H22年度 決算報告書(一般会計)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	15,077,794	「友城」会報発刊費	1,258,551
34回生 同窓会入会金 (@ 17,000 × 182名)	3,094,000	名簿作成助成金(第2期)	1,500,000
会報賛助金振り込み	103,360	会議費	140,552
利息	3,140	(定例役員会費・懇親会費)	
		諸会費	16,060
		事務消耗品費	32,581
		通信費	11,940
		友城会サイト設備費	128,250
		慶弔費	43,915
		34回生 卒業記念品費	255,700
		雑費	21,294
		(特) 名簿作成助成積立金	600,000
		(特) 周年事業助成積立金	500,000
		次年度繰越金	13,769,451
合 計	18,278,294	合 計	18,278,294

H23年度 予算案

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	13,769,451	「友城」会報発刊費	1,400,000
35回生 同窓会入会金 (@ 17,000 × 185名)	3,145,000	会議費 (定例役員会費・懇親会費)	300,000
		通信費	30,000
		事務用品費	100,000
		消耗品費	30,000
		事業費①(サイト運営など)	100,000
		事業費②(本事業費など)	3,000,000
		慶弔費	50,000
		35回生 入会記念品費	260,000
		予備費	100,000
		雑費	30,000
		交際費	50,000
		(特) 名簿作成助成積立	600,000
		(特) 周年事業助成積立	500,000
		次年度繰越金	10,364,451
合 計	16,914,451	合 計	16,914,451

友城会 Free space

同窓会開催方法

「学年同窓会をしたい!」「部活OB会を行いたい!」など、皆さんへご案内を発送したい場合には、同窓会事務局、もしくは、小野高速印刷(株)同窓会支援事業部までご連絡ください。宛名シール・案内ハガキ発送代行(有料)などご用意することができます。是非ご利用ください。

※ご依頼の際に、個人情報保護の関係から本人確認をさせていただきます場合がございますのでご了承ください。

小野高速印刷(株) 同窓会支援事業部
TEL 079-281-8837 FAX 079-281-8839
meibo@dousou.info

同窓生 Freespace 原稿募集

- 卒業生のお店紹介
- 同窓会案内
- サークル募集

なんでも構いません。掲載ご希望の方は同窓会事務局まで。掲載については無料です。尚、会報紙面の都合上、掲載できない場合がございます。



Jimukyoku Dayori

事務局だより

友城会会員名簿のご案内

友城会では平成22年6月に会員名簿を発刊いたしました。旧職員と1回生から平成22年3月卒業生の33回生までの約10,000名の氏名、〒、住所、電話番号、勤務先又は在学学校名を掲載しております。ご希望がございましたら名簿管理を委託しております小野高速印刷(株)までお問い合わせください。

ご購入の際には、ご本人確認をさせていただきます。ご購入の際は、ご本人確認をさせていただきます。



名簿：代金引換発送4,300円（送料、消費税込み）
お問い合わせ：小野高速印刷(株)同窓会支援事業部
フリーダイヤル 0120-66-7754 (9:00~17:00)

原稿大募集！

同窓会報『友城』では、友城会活動報告、会員様の近況、会計報告、母校の近況などを掲載しておりますが、今後も会員相互の情報交換の場として、ひろく様々な情報を掲載していきたいと考えております。

つきましては、会員の皆様から同期会やクラス会、OB会などの報告や告知、または、多方面でご活躍されている会員の情報など遠慮なく寄稿して頂きたいと思っております。

また、誌面へのご要望はもとより、同窓会活動に対する疑問や質問などもお寄せください。

方法は、右記、小野高速印刷(株)会報友城の係に郵送又はFAXにてお寄せください。その際には、卒業年度（〇回生）、住所、氏名（旧姓）、TELをお忘れないうようお願いいたします。また、お写真等もお送り頂けると幸いです。

会報賛助金で協力ありがとうございました

卒回	入金件数	卒回	入金件数	卒回	入金件数
旧職員	32	12	0	24	3
1	9	13	3	25	3
2	0	14	3	26	2
3	2	15	2	27	1
4	6	16	3	28	1
5	4	17	1	29	2
6	6	18	0	30	1
7	3	19	4	31	4
8	3	20	0	32	3
9	2	21	0	33	2
10	3	22	1	(合計)	111
11	1	23	1		

会報賛助金にご協力下さい

この度も、同窓会報「友城」2011年版をお届けできました。本会発展並びに母校の情報提供のため、今後とも充実した内容を目指しお届けしたいと考えています。そこで、皆様方に会報をお届けするための賛助金をお願いしたいと思います。今回も、コンビニでも振込可能な口座となっております。同封のお振込用紙をご利用の上、お近くの郵便局・コンビニよりお振込みいただきご協力下さいますようお願い申し上げます。

尚、同封の振込用紙以外はお振込できませんのでご了承下さい。

何卒ご協力の程よろしく申し上げます。

平成23年度 執行本部役員一覧

敬称略（ ）内は旧姓

職名	氏名	卒回
会長	松尾和弘	1回
副会長	杉本博昭	1回
//	中塚守人	1回
//	小川智数	13回
//	筒井(御着)悟	14回
//	瀬谷憲弘	19回
書記	籠池(寺尾)かおる	1回
//	森本育子	26回

職名	氏名	卒回
会計	杉田(藤本)優佳里	1回
会計	角田(武田)ゆみ	15回
総務	岩城(山本)里子	1回
//	堀田(猪澤)修子	2回
//	山元(堂本)美保	2回
//	西山まい美	5回
//	西宏之	22回
//	大塚巧	25回

職名	氏名	卒回
監査	久野博史	1回
//	中島真彦	25回

職名	氏名	卒回
顧問	田中章愛	母校校長
//	中尾伸太郎	1回

*松尾和弘会長は、自身の病気療養の為、2009年度より、全ての会務活動を休止されて居ります。代役として副会長がこの任を努めております。

編集
Editor's note
後記

さて、2011年版:会報『友城』如何でしたでしょうか？
今号には、今年度より導入された「新制服」、「姫路特別支援学校分教室」など母校にとって新たなページとも言える記事をご紹介しますことが出来ました。

これからも、より内容を充実した会報を目指すべく努力してまいります。

また、今回も、母校・兵庫県立姫路別所高等学校の関係各位の方々をはじめ、お忙しい中、本会報への貴重な寄稿文をお寄せ頂いた恩師の先生方、諸先輩方、会員の皆様、またこの出版に携わったすべての方々に無事に発刊できたことを、感謝するとともに、母校・兵庫県立姫路別所高等学校の益々の発展と、恩師の先生方をはじめ、全ての本会員の皆様を心よりお祈り申し上げます。

(友城会広報委員・会報『友城』出版編集局一同)

兵庫県立姫路別所高等学校 友城会

会報 友城

- 発行日：平成23年（2011年）6月30日
- 連絡先：〒671-0223 兵庫県姫路市別所町北宿303番地-1
TEL 079-253-0755 FAX 079-253-0726
- 学校ホームページ
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~bessho-hs/>
- 友城会ホームページ
PCサイト <http://www.yuujoyo.com>
携帯サイト <http://www.yuujoyo.com/mobile/>



モバイルのQRコード

印刷所：小野高速印刷株式会社
〒670-0933 姫路市平野町62